

成果報告会

津別町「地域内エコシステム」の実践に向けて ～みんなで使おう木質バイオマス!!～

- 【日時】 令和4(2022)年3月2日(水) 18:30～20:00
- 【場所】 津別町役場 1階 健診ホール / Web会議「Zoom」
- 【主催】 津別町森林バイオマス利用推進協議会
- 【共催】 地域内エコシステム事務局
(一般社団法人日本森林技術協会、株式会社森のエネルギー研究所)
- 【後援】 津別町



本日のプログラム ～成果報告会の流れ～



18:30 開 会

1. 会長挨拶 伊藤会長(副町長)

18:35 2. 基調講演

「足元から見直すバイオマスエネルギー ～薪・地域熱供給・発電～」

岩手大学農学部

附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター教授 山本 信次 氏

19:20 (質疑応答)

19:30 3. 成果報告(これまでの取組・今後の流れ)

(1)「地域内エコシステム」を通して

(2)木質バイオマスに関する町の取組について

19:45 4. 意見交換(質疑応答)

20:00 閉 会

津別町「地域内エコシステム」の実践に向けて

みんなで使おう木質バイオマス!!



3. 成果報告(これまでの取り組み・今後の流れ)

「地域内エコシステム」を通して

【日時】令和4(2022)年3月2日(水)18:30~20:00

【場所】津別町役場 1階 健診ホール / Web会議「Zoom」

一般社団法人 日本森林技術協会
事業部 林業経営グループ バイオマスチーム

技師 窪江 優美

「地域内エコシステム」とは？



木質バイオマスエネルギーの導入を通じた、地域の人々が主体の地域活性化事業

地域内エコシステム概念

- ◆ 集落や市町村レベルで小規模な木質バイオマスエネルギーの利用により、森林資源を地域内で持続的に循環させる仕組みです。
- ◆ 地域内エコシステムを構築することにより、地域での森林資源を持続的に活用し、エネルギーの地産地消によって資金流出を防ぎ、地域の活性化また地域関係者への利益還元を目指します。

地域内エコシステムの考え方

- ▶ 集落が主たる対象
(市町村レベル。必要があれば複数の市町村も対象)
- ▶ 地域の関係者からなる協議会が主体
(地域の人々が主体の地域自立的な取り組み)
- ▶ 地域への還元利益を最大限確保
- ▶ 効率の高いエネルギー利用
(熱利用または熱電併給：出力1,000KW程度を想定)
- ▶ 固定買取価格(FIT制度)による売電を主とした計画は想定しない
- ▶ 林地残材やC、D材、地域材の加工副産物等の活用



「地域内エコシステム」モデル構築事業①



- ◆ 「地域内エコシステム」の構築と事業計画の策定に向けて、既の実現可能性調査を行い、地域協議会を設置済みの地域を対象に、協議会運営を支援(合意形成の促進)しています。

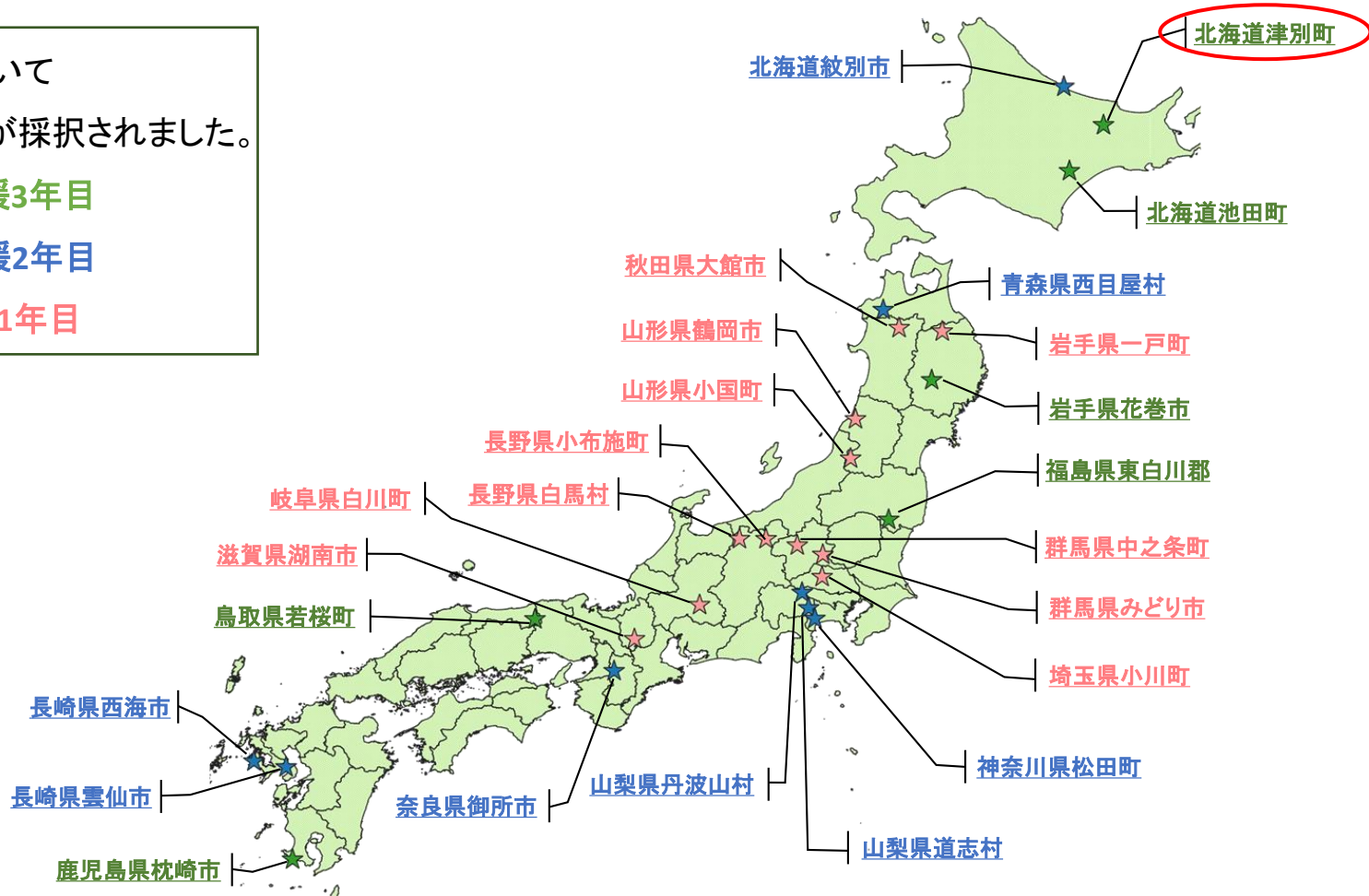
★採択地域について

全国25地域が採択されました。

緑: 継続支援3年目

青: 継続支援2年目

ピンク: 支援1年目



「地域内エコシステム」モデル構築事業②

地域内エコシステム報告会の開催について

◆ 公開期間

令和4(2022)年3月1日(火)～3月31日(木)

◆ 公開形式

Web視聴型形式

◆ 申込方法

地域エコ専用HPの「報告会」ページより
視聴のお申し込みのほどお願いいたします。
(参加費は無料)



URL : <https://wb-ecosys.jp/hokokukai.html>

◆ 備考

視聴のお申し込みを行っていただくと、ご記入いただいたメールアドレスへ資料および動画の閲覧視聴用のパスワードが送られます。

※ 視聴のお申し込みをされていない方へのパスワード・各種資料等の二次配布はご遠慮ください。



令和3年度
林野庁補助事業
「地域内エコシステム」モデル構築事業
事業実施計画の精度向上支援

地域内エコシステム 成果報告会

WEB開催

木質バイオマスを活用した
地域づくり・人づくり

本年度は全国25地域を支援しています。

公開期間：令和4年3月1日～3月31日
※公開当日以降、公開可能な動画から順次公開予定

参加申込詳細は、下記URLまたはQRコードをご確認ください。
※当該事業は、林野庁補助事業により実施しております。

地域内エコシステム専用HP
<https://wb-ecosys.jp/>

「地域内エコシステム」モデル構築事業③



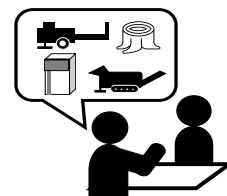
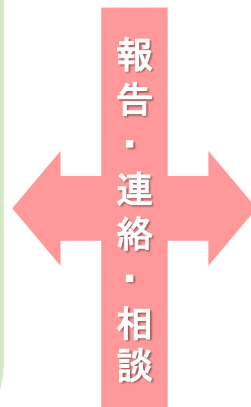
地域の方々と協働で地域内エコシステムの構築に向けて
地域の実情に応じながら、実現に向けての協力・サポート等を実施する。

★支援してほしい項目

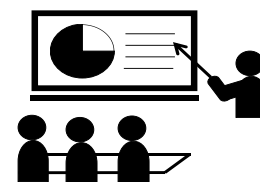
- ✓ 津別町森林バイオマス利用推進協議会の運営を支援してほしい。
- ✓ つべつウッドロスマルシェの運用体制等を一緒に考えてほしい。
- ✓ 木質バイオマスセンターの運用方法は、どんなやり方が良いのか相談したい。
- ✓ 木質バイオマスエネルギーの導入に向けた調査は、できないのだろうか。
- ✓ 情報収集と提供を受けることはできないのだろうか。など



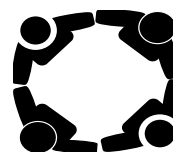
津別町森林バイオマス利用推進協議会



地域協議会の運営支援



専門家等の派遣



地域集合研修の開催



成果報告会の開催

- ✓ 採択地域である津別町の相談・要望等から、地域エコ事務局は多種多様に支援します。

 一般社団法人日本森林技術協会
Japan Forest Technology Association

 バイオマス活用システムのベストパートナー
株式会社 森のエネルギー研究所

地域内エコシステム事務局

「地域内エコシステム」モデル構築事業④



3年間通しての
目標・目的

目標(大ゴール) 「豊かな自然とともに育む環境のまち・つべつ」の実現

目的(小ゴール) 津別町内の林業が抱えている課題解決と林業振興

令和元(2019)年(平成31年度)

「地域内エコシステム」構築事業に応募し、採択(2019.6)

- 木質バイオマスセンターの導入可能性を探り、検討すること。
- 再生可能エネルギーマネジメントセンターの整備・設立を準備すること。

令和2(2020)年

「地域内エコシステム」モデル構築事業に応募し、採択(2020.7)

- 木質バイオマスセンターの建設に向けた準備をすること。
- 木質バイオマス収集事業(つべつ版木の駅プロジェクト)の構築をすること。
- 再エネマネジメントセンターの設立を準備すること。
- 木質ボイラー導入可能性調査の精度を向上(ブラッシュアップ)すること。
- 木質バイオマスを活用したまちづくりの普及・啓発の支援をすること。

令和3(2021)年

「地域内エコシステム」モデル構築事業に応募し、採択(2021.7)

- 木質バイオマスセンターの建設・稼働に向けた準備をすること。
- 木質バイオマスボイラーの導入と今後の方針(案)を整理すること。
- 「つべつウッドロスマルシェ」の確立をすること。

今年度は、つべつウッドロスマルシェの確立に向けて、実証試験と再エネ勉強会を実施しました。



実現可能性調査
(FS調査)を実施

過年度の結果を
ブラッシュアップ
・不足部分のFS調査

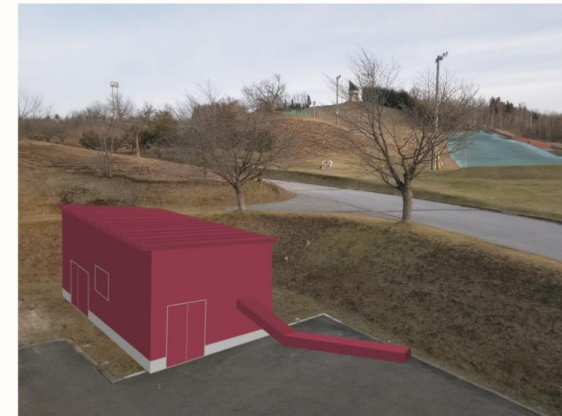
3. 成果報告(これまでの取り組み・今後の流れ)

(2) 木質バイオマスに関する町の取組について



▲ つべつ木質バイオマスセンター完成イメージ図

木質チップの
製造施設と
チップボイラー棟を
建設するんだね。



▲ つべつ木材工芸館「キノス」 木質バイオマスボイラー棟完成イメージ図



津別町の再生可能エネルギー取り組み簡易年表



※ 令和3(2021)年度以降に、木質バイオマスセンターの建設およびつべつ木材工芸館「キノス」へのチップボイラー(仮)の導入を想定しています。

津別町の木質バイオマス導入施設(令和4(2022)年2月時点)

平成19(2007)年度

- ・ 津別町バイオマスタウン構想策定
- ・ 丸玉木材株式会社(津別単板協同組合)バイオマスエネルギーセンター運用開始

平成21(2009)年度

- ・ 津別町木質ペレット製造施設稼働
- ・ 役場庁舎等公共施設にペレットボイラー 3台導入

平成23(2011)年度

- ・ 津別町森林バイオマス利用推進協議会設置

平成24(2012)年度

- ・ 津別町森林バイオマス熱電利用構想策定

平成26(2014)年度

- ・ 認定こども園にペレットボイラー導入

平成27(2015)年度

- ・ 津別町モデル地域創生プラン策定

平成28(2016)年度

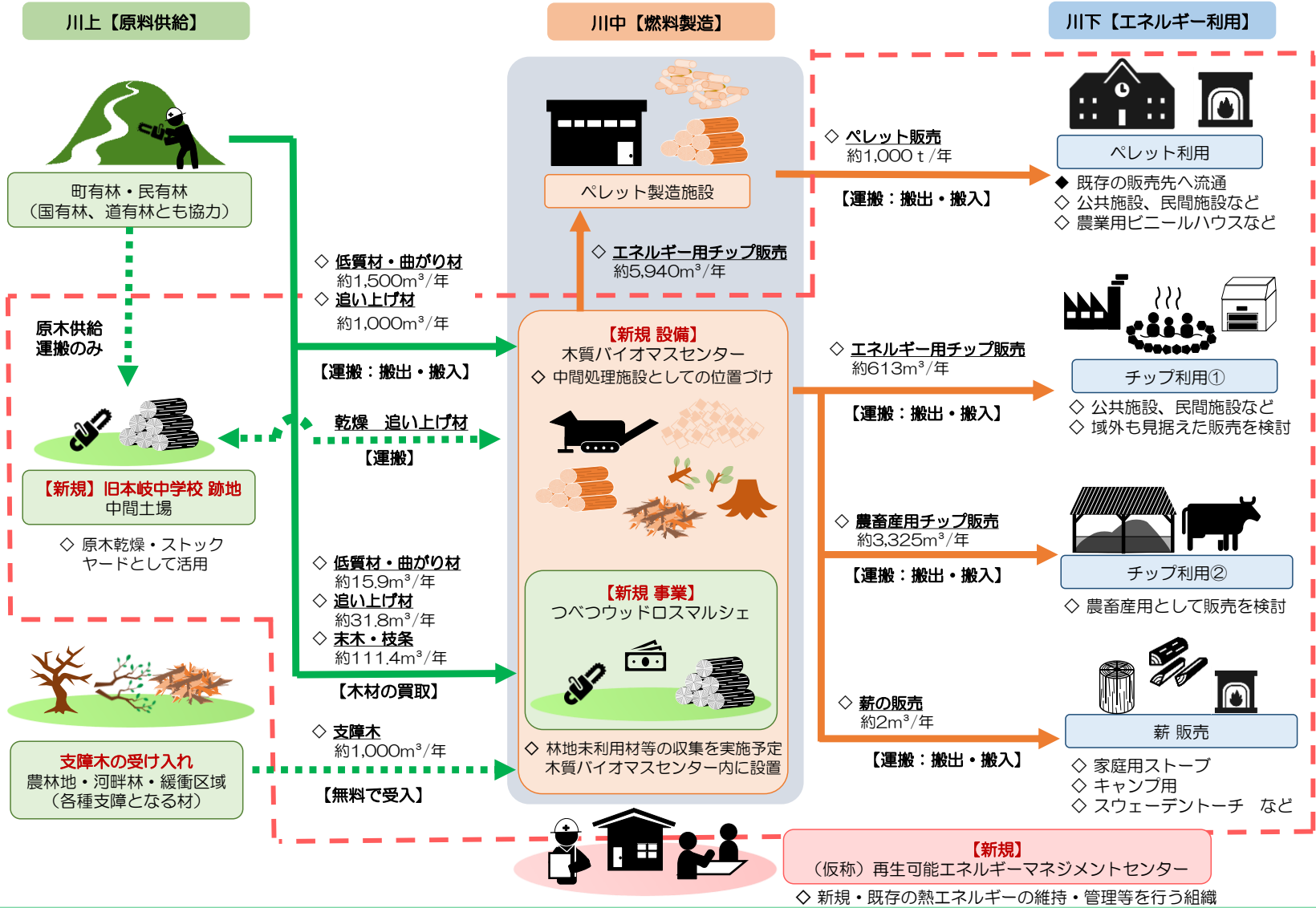
- ・ 西町団地に熱供給システムを導入(ペレットボイラー1台)

令和2(2020)年度

- ・ 役場新庁舎にペレットボイラー1台導入
- ・ 消防新庁舎にペレットボイラー1台導入

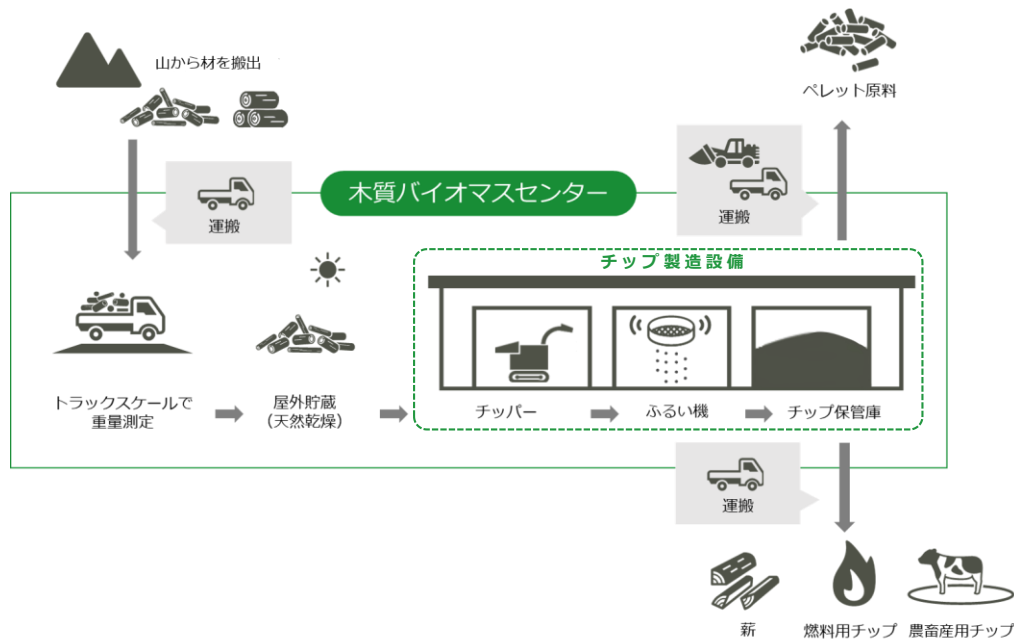


▶ 本町が目指すサプライチェーン(実施体制図)

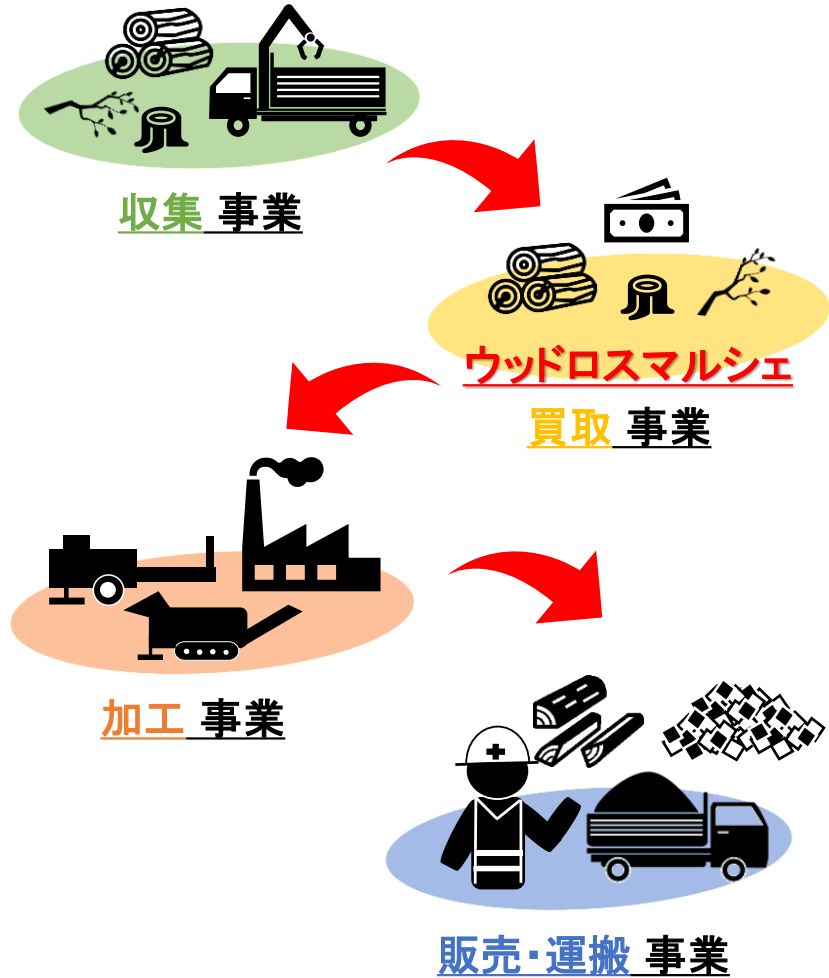




▶ 「つべつ木質バイオマスセンター」について(1)



つべつ木質バイオマスセンター:製品製造加工設備イメージ



つべつ木質バイオマスセンターの事業内容

▷ 「つべつ木質バイオマスセンター」について(2)



旧本岐中学校グランド跡地(中間土場)

▶ 「つべつウッドロスマルシェ」について(1)

ウッドロス(=林地未利用材)は、津別町生まれの造語です!



- ▶ 本センターの機能の一つである受け入れ(買取)では、**①森林所有者への利益の還元および森林所有者・地域住民の気運醸成の場づくり**、**②森林整備に資する林地未利用材の有効活用と収集する仕組みづくり**の2つを目的に、津別町独自の仕組み「つべつウッドロスマルシェ」を令和5年度より実施予定です。
- ▶ 「つべつウッドロスマルシェ」に木を持ち込むことで、わずかではありますが**収入(お小遣い程度)が得られ**、津別町のために役立つことにつながります。



▷ 「つべつウッドロスマルシェ」について(2)



参加・受入れ手順

1. 受付①：参加表の作成・提出
2. 計測①：積載重量の確認
3. 荷降ろし：規格ごとに降ろす
4. 計測②：車両重量の確認
5. 受付②：終了報告・伝票受取

原木置き場 (各規格で分別予定)

トラックスケール

事務所

チップ製造設備

スロープ

津別町 木質ペレット製造施設

木質バイオマスセンター (建設予定地)

40 0 40 m

つべつウッドロスマルシェの参加・受入手順(予定)

個人の記入例		2021.11_ver3
つべつウッドロスマルシェ参加記録表		
記入日: 2021年 10月 27日		
氏名	ふりがな	つべつ まるた
		津 別 まるた
所属先		個人(会社員)
住所		北海道網走郡津別町
連絡先	電話	000-1234-5678
	メール	tsubetsu.0000@x.x.jp
搬出した日		令和 31年 4月 日
搬出した場所		国有林・道有林・町有林・私有林(自己・所有外)・その他
出荷日		令和 3年 10月 27日
▼事務局記入欄		
出荷規格		規格 A ・ 規格 B ・ 規格 C ・ 規格 D
出荷量		0.3 t (300kg)
※重量測定し、記入		
(※記入) 運搬施設		

つべつウッドロスマルシェ 参加記録表(案)



▷ 「つべつウッドロスマルシェ」について(3)

- ▶ つべつウッドロスマルシェでは、**規格ごとに林地未利用材等を受け入れし、有価物として買い取る予定**です。**ご家庭でできる庭木支障木や剪定枝等も受け入れます。**

※ なお、下表は目安として示しており、価格の見直しも定期的に行いますので、ご注意ください。

- ▶ 買い取った材は用途別に加工して、**薪(家庭用ストーブ、キャンプ用、スウェーデントーチ)**や**チップ(エネルギー用、農畜産用)**として利用を予定しています。

受け入れ樹種・要件および買取価格の目安

区分 受け入れる樹種	規格A 低質パルプ等	規格B 追い上げ材	規格C 末木	規格D 混合、枝条
カラマツ	7,400円/t (2,500円/台)	3,700円/t (1,200円/台)	1,100円/t (400円/台)	700円/t (200円/台)
カラマツ以外 (樹種の混合含む)	5,900円/t (2,000円/台)	3,000円/t (1,000円/台)	900円/t (300円/台)	
受入要件	材長 1.6m～	材長 20cm～	材長 1.6m～ 末口 8cm未満	枝条 枝条単体のみ。 枝条と他の規格が混ざっていた場合は引き取りません。

※1: 樹種は、すべて受け入れます。ただし、上記の区分のように分別をお願いいたします。

※2: 土や石などはできるだけ、落としてください。

※3: 木質ではないもの(ゴミ、鉄、プラスチック等)は混ぜないようにしてください。混ざっていた場合は引き取りません。

※4: 各規格の金額で、()内の金額は、軽トラック1台の最大積載量(350kg)であった場合の精算金額の目安です。

※5: 精算方法は、開催月の翌月にお支払いを想定しています(例えば、毎月20日締め、翌月5日払い)。

▷ 「つべつウッドロスマルシェ」について(4)



規格A 低質パルプ等の積載イメージ(最大積載350kg)



規格B 追い上げ材の積載イメージ(最大積載350kg)



すぐに最大積載量に！
以外と積まさないんだね。
枝条は、カサばるね。



規格C 末木の積載イメージ(最大積載350kg)



規格D 混合の積載イメージ①(最大積載350kg)



規格D 枝条の積載イメージ②(最大積載350kg以下)



▷ 今後の日程(ロードマップ)



項目/年度(四半期)	令和3年度				令和4年度				令和5年度				
	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	
【川中】 木質バイオマス センター	● 実施設計 (6/3~2/18)				● 建設工事 着手/完了(6~3月)				● 試運転 ● 供用開始				
【川上・川中】 つべつ ウッドロスマルシェ	● 勉強会の開催(11/17) ● 勉強会の継続開催、規約・定款等の各種資料の作成及び周知 など								● 本格稼働				
【川中・川下】 津別町 再生可能エネルギー マネジメントセンター	● 運営主体を整備/合意形成 ● 業務内容等の整備/委託・受託 ● 木質ボイラー等の普及啓発								● 業務開始				
【川下】 木質ボイラー 導入可能性調査	複合施設	● 基本・実施設計 (12月~3月)				● ボイラー導入 着手/完了(6~3月)				● 供用開始(5月以降)			
	キノス	● 実施設計 (6/3~1/17)				● 建設工事 ボイラー導入 着手/完了(6~12月)				● 供用開始			

意見交換（質疑応答）

メ モ

山本教授、地域エコ、
町の取組に対する質問や
疑問を受付けます。

